

# つなぐ

※学校での子どもたちの様子を、ホームページにほぼ毎日掲載しています。  
右のQRコードから、または「鮫川小」で検索してぜひご覧ください。



## SUN3プラン生活・学習アンケートの結果から②

前回に引き続き、「SUN3プランさめがわ 生活・学習アンケート」第2回の結果をご紹介します。今回は、「自己肯定感」に関する内容について取り上げます。

### 「自己肯定感」とは？

「今の自分が好き」「自分には自分らしさがある」など、自分自身に満足をしていて、自分のことを肯定的に思える感覚のことをいいます。一般的に、自己肯定感が高いと「自分も他者も大切にす」「少々のことでめげない」「積極的」になり、自己肯定感が低いと「自分に自信が無く劣等感をもってしまう」「他人に依存する」「マイナス思考になりがち」であるといわれています。

### ◇「自分にはいいところがあると思いますか。」本校の結果

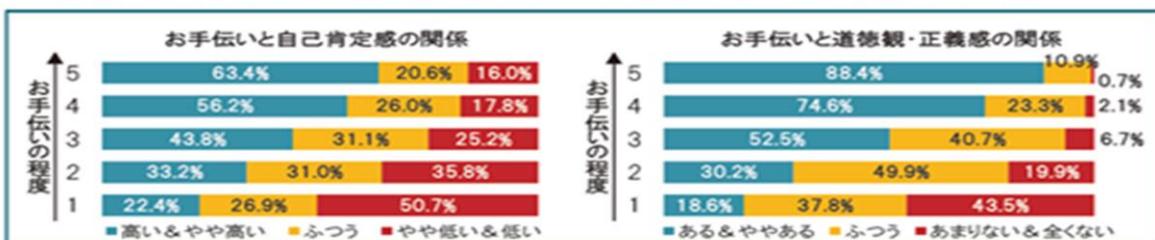


この質問については、大きな変容が見られませんでした。「よく思う」「思う時が多い」が合わせて60%程度で、「思わない」と答えたお子さんが9%以上という結果でした。また、学年があがると自己肯定感が下がる傾向も確認できます。日本人は諸外国に比べて自己肯定感が低いと言われていますが、本校でもその傾向が見られたため、子どもたちに自信をもたせていくことに重点を置いて指導しています。

### お手伝いと自己肯定感

お手伝いと自己肯定感の関係について、次のようなデータを見つけました。

#### ＜お手伝いと自己肯定感、道徳観・正義感の関係【小4～6、中2、高2】＞



資料：国立青少年教育振興機構「青少年の体験活動等に関する実態調査（平成26年調査）」

\*裏面へ続きます。

お手伝いをうまく活用すると、子どもたちにより影響を与えることができそうです。学校では、児童会委員会や各学級の係活動を通して、自分たちで計画を立てて取り組ませ、その過程を認めることに努めています。ご家庭でも、以下のようなお手伝いに取り組ませてはいかがでしょうか。

- 子どもが無理なく続けることができる
- 他の人のためになる
- 決めるときは「どんなお手伝いを」「いつ」「どのように」行うかを子ども自身に考えさせ、選ばせる
- お手伝いが終わったら毎回必ずほめ、感謝の気持ちを伝える

## 「自己肯定感」を高める子どもへの接し方とは？

保護者や先生など、大人の子どもの接し方によって、子どもの自己肯定感を高めることができるそうです。学校と家庭で連携して、以下のポイントを意識して子どもたちに接することで、鮫川小の子どもたちの自己肯定感をアップさせていきましょう！

### ○子どもの話を聞いて肯定してあげる

- ・口を挟みたくなくても、グッと我慢が大切。

### ○子どもに選択させる ○子どもに考えさせる

- ・何か決めるときは自分で決めさせる。または子どもに意見を求める。その結果は肯定的に受け入れる。

### ○ほめるときは結果ではなく過程をほめる

- ・失敗しても「結果はだめだったけどよく頑張った！」

### ○ほかの子どもと比較しない

- ・他人の目を気にしすぎないようにするためにも重要。

### ○転ばぬ先の杖はつかない

- ・子どもが困らないようにと、先回りして準備しすぎない。困ったときは自分で考えさせることも大切。

太文字は「自己肯定感をグッと高める！ 子どもへの接し方とは？ みらいHP」より

### ◇NGワード

- 否定 「うちの子は無理」「できっこない」
- けなし 「だめねえ」「下手だねえ」
- 比較 「お兄ちゃんなのに」「〇〇ちゃんはできているのに」
- 突き放し 「もう知らない」「嫌い」「勝手にして」

古河市公式YouTube ⑦こんな時こそ家庭教育（自己肯定感）より

## 村長さんに義援金をお渡ししました

◇ 児童会運営委員会が中心となって行った赤い羽根共同募金（能登半島地震義援金）が、34,189円集まりました。先日、村長さんが学校においでになり、運営委員会児童が直接お渡ししました。村長さん、保護者の皆様のご協力に感謝いたします。運営委員さん、よくがんばりました！

